

# 第 40 回全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会

## 開催要項

- 主催 公益財団法人全日本ボウリング協会  
後援 公益財団法人京都府スポーツ協会（予定）  
協力 日本ボウリング機構（JBO）  
主管運営 全日本実業団ボウリング連合 ・ 一般社団法人京都府ボウリング連盟  
開催日 2023年1月27日(金)～29日(日)  
競技会場 MKボウル上賀茂（公競No.126-005）  
〒603-8036 京都市北区上賀茂西河原町1-1 TEL:075-701-2131 FAX:075-722-2630  
競技種目 4人チーム戦（男女混合可）  
競技方式 レギュラー方式の競技はデュアルレーン方式（アメリカ方式）、  
ベーカー方式の競技はシングルレーン方式（ヨーロッパ方式）で実施する。  
競技方法 【予選】レギュラー方式9ゲーム（1ゲームごとにレーン移動）の競技を行い、チーム合計  
36ゲームの得点上位より、各組6チーム（計18チーム）、各組7位以下のチームを  
得点順に並べた上位2チームの合計20チームを選出し決勝出場チームとする。  
【決勝】10チームずつA・Bグループに分け、グループごとにベーカー方式にてラウンドロ  
ビン方式（総当り戦）の1ゲームマッチを行う。勝ポイント（勝利チームに20ポ  
イント）、同得点ポイント（両チームに10ポイント）を加えた9ゲームの合計得点  
により各グループの順位を決定する。

ハンディキャップ レギュラー方式において1ゲームにつき次のハンディキャップを与える。

年齢基準は2022年4月1日現在の満年齢とする。

	49歳以下	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上
男子	0	5	10	15	20	25
女子	15	20	25	30	35	40

以降、5歳増すごとに5点を加算する。

- 競技規程 JBC選手権競技会規程ならびにJBCボウリング競技規則を適用する。  
同位の裁定 予選・決勝において同位が生じた場合、第133条に基づき裁定する。  
ただし、決勝ポジションマッチ後に1位と2位が同点の場合、各チーム2名の競技者による  
9・10フレーム（ベーカー方式）の決定戦により順位を決定する。  
参加資格 (1) 2022年度のJBC実業団会員で、各連盟から選出されたチームとする。  
(2) 同一実業団でチームを編成すること。  
(3) 各チームに1名の補欠選手登録を認める。補欠選手の交代は、レギュラー方式ではシリ  
ーズごとに交代することができる。ベーカー方式では1ゲームごとに交代することがで  
きる（投球順序についても1ゲームごとに変更できるが投球順序を明示すること）。

- (4) 各都市を代表するチームであること（基本的には各都市から1チームの参加とする）。
- (5) 割当に余裕があった場合、同一都市の同一実業団から2チームの参加も認める。
- (6) 同一実業団に20名以上の登録がある場合、2チームの参加も認める。
- (7) 1都市・郡・区に10実業団以上の登録がある場合、2チームの参加も認める。

褒 賞 チーム優勝～第6位

チームハイゲーム賞・ハイシリーズ賞（予選9ゲームを対象、ハンディキャップ込み）

個人ハイゲーム賞・ハイシリーズ賞（予選9ゲームを対象、スクラッチ）

ベーカー方式チームハイゲーム賞（決勝を対象）

参加賞（参加者全員に贈る）

施設使用料 1チーム48,000円（1名12,000円）

※決勝費は施設使用料に含む

申込方法 各都道府県にて取りまとめの上、所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、施設使用料を添えて、期日までに下記申込先へ申し込むこと。（E-Mail提出にご協力ください）

申込先 一般社団法人京都府ボウリング連盟

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70 京都府スポーツセンター内

TEL:075-681-1180 FAX:075-681-1194 E-Mail: info@bowling-kyoto.com

申込締切 2022年12月23日(金)必着

送金先 別紙送金明細書参照のこと。

送金締切 2022年12月27日(火)厳守

- 注意事項
- (1) 納入された施設使用料は、送金締切日以降返金しない。また、自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。
  - (2) 主催者として傷害補償責任等は一切負わない。各自において保険証（原本または写し）を持参するとともに、事故や怪我等に備え補償を受けられるスポーツ傷害保険等へ加入すること。
  - (3) 公認ゲーム消化証明は、各団体の責任において確認すること。
  - (4) ボールについて
    - 参加選手は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録料として、2個目から1個につき500円を納めること。また、5個目からは特別保管料として1個につき1,000円を追加徴収する。ボールの追加登録は原則として認めない。
    - 会場内へのボールの持ち込みは4個以内に自粛すること。
    - 原則、ボールの当日検査は行わない。選手は事前に各都道府県にてボール検査合格証の発行を受けること。
    - 競技中に参加全選手の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
  - (5) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。申請書に必要事項を記

入し、300 円の発行手数料を添えて申請すること。

- (6) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
- (7) JBC の定める「新型コロナウイルス感染症予防策ガイドライン」に基づいて実施する。  
参加にあたり、選手は大会当日、新型コロナウイルス感染症リスクチェックシートを提出し、予防策ガイドラインを遵守すること。遵守しない場合、大会の参加を認めないの  
で注意すること。
- (8) 大会関係者・参加選手・監督等に I D カードを発行する。I D カードの無い者は競技会  
場内に入ることはできない。

#### ※ドーピング検査について※

1. 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
2. 本競技会参加者（18 歳未満の競技者を含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
3. 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできる。18 歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後 2 時間の安静が必要となるので留意すること。
6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。